

平成 12 年 10 月 5 日

各 位

## 平成 13 年 3 月期第 1 四半期業績等の概況

**Oricon DD**  
Oricon Direct Digital Inc.

上場会社名 株式会社おりこんダイレクトデジタル  
(コード番号: 4800)  
本店所在地 東京都港区六本木七丁目 15 番 14 号  
問合せ先 取締役管理部長 古川 善 健  
T E L (03) - 3405 - 5252

### 1 業 績

(1) 平成 13 年 3 月期第 1 四半期 (平成 12 年 4 月 1 日 ~ 平成 12 年 6 月 30 日) の業績

(単位: 千円、%)

	13 年 3 月期第 1 四半期 (当四半期)	(参考) 前 年 同期比	(参考) 12 年 3 月期第 1 四半期 (前年同四半期)	前期 (通期)
売 上 高	100,430	-	-	128,710
売上総利益	70,489	-	-	72,019
営 業 利 益	19,654	-	-	11,948
経 常 利 益	19,447	-	-	6,341

(注) 1. 前年同期比及び前年同四半期の数値に関しましては、当社が平成 11 年 10 月 1 日設立であり、6 ヶ月間の決算であるため記載しておりません。

2. 当四半期に係る数値については公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

## (2) 部門別の売上高内訳

(単位：千円、%)

	13年3月期第1四半期 (当四半期)		(参考) 前年 同期比	(参考) 12年3月期第1四半期 (前年同四半期)		前期(通期)	
	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
放送局向けCD管理用 データベース提供	7,722	7.7	-	-	-	14,826	11.5
EC事業者向け データベース提供	40,196	40.0	-	-	-	41,224	32.0
新譜情報誌の購読料	5,214	5.2	-	-	-	12,136	9.4
新譜情報誌の広告料	8,423	8.4	-	-	-	16,385	12.7
データベース事業	61,556	61.3	-	-	-	84,572	65.7
携帯端末へのコンテンツ提供	28,574	28.4	-	-	-	35,638	27.7
ECサイトへのコンテンツ提供	1,800	1.8	-	-	-	1,000	0.8
デジタルコンテンツ事業	30,374	30.2	-	-	-	36,638	28.5
その他事業	8,500	8.5	-	-	-	7,500	5.8
合計	100,430	100.0	-	-	-	128,710	100.0

(注) 1. 前年同期比及び前年同四半期の数値に関しましては、当社が平成11年10月1日設立であり、6ヶ月間の決算であるため記載しておりません。

2. 当四半期に係る数値については公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

## (3) 主な資産・負債の変動について

(単位：千円)

項目	13年3月期第1四半期	増減額	前期末
(資産)			
1. 現金及び預金	264,237	237,660	501,897
2. 売掛金	83,765	30,482	53,282
3. 有価証券	161,006	161,006	-
4. 仮払金	4,291	4,291	-
5. 投資有価証券	60,500	60,500	-
(負債)			
-	-	-	-

(注) 1. 項目ごとの変動額が総資産額の0.5%を超えるものを記載いたしております。

2. 当四半期に係る数値については公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

## 2 当期第1四半期業績の概況

### (当四半期の業績)

当社は、音楽を中心とする電子商取引（EC）事業者へデータベース提供を行うため平成11年10月に設立され、当期は第2期を迎えました。

当四半期においては、前期に引続き当社のデータベース提供先であるEC事業者の開拓、ならびにインターネット対応の携帯端末（以下情報携帯端末）向け情報提供内容の充実に力を入れました。

その結果、当期の第1四半期の業績は、売上高100百万円、営業利益19百万円、経常利益19百万円となり、前期（6ヶ月決算）の売上高に迫る売上を3ヶ月で計上し、営業利益、経常利益では前期を上回ることができました。

また、営業譲受資産であるソフトウェアの償却を約5百万円しておりますので、キャッシュフロー上は約24百万のプラスになりました。

### (部門別売上：データベース事業)

ECの普及を背景に、当社が保有する楽曲データベースを検索に利用する必要性が高まる中で、検索項目の多様化などデータベースのクオリティアップを図り、EC事業者に対する利便性の向上に注力いたしました。これに伴いデータベース提供契約者数は、当四半期末では20社となり、期初の7社から大幅に増加いたしました。

この結果、EC事業者向けデータベースの提供が売上を伸ばし、当四半期では47百万円の売上を計上しました。その他の新譜情報誌の販売や広告収入も安定的に推移したため、データベース事業では、売上高61百万円、売上高全体の構成比61.3%となりました。

### (部門別売上：デジタルコンテンツ事業)

当社では、情報携帯端末向けに、最新の音楽情報と「全国CLUB」の情報を提供していますが、データの更新を毎日行い、提携「CLUB」数を増やすなどして、コンテンツ内容を充実させたことが奏効し、当四半期初の有料会員数が26,838人だったのに対して、当四半期末には52,039人と会員数を伸ばしました。

この結果、売上高30百万円、売上高全体の構成比30.2%となりました。

### (売上原価及び売上総利益)

当期第1四半期の売上総利益率は70.2%と、前期（6ヶ月決算）の売上総利益率56.0%から改善しております。

当社の売上原価の主な内容は、データベース入力及び更新費用、情報携帯端末向けコンテンツ作成のための費用、「月刊データベース」印刷代等からなっております。基本的には各期間において固定的に発生する人件費及び経費が主な項目であるため、売上高が増加しても売上原価はそれほど増加しないことから売上総利益率が向上する傾向にあります。

(販売費及び一般管理費)

売上高販売管理費比率は50.6%と前期(6ヶ月決算)の比率46.7%から増加しております。

主たる増加の要因は、社内管理体制の強化のため管理部門増強を行ったことによるコストアップであります。

(営業利益、経常利益)

売上高営業利益率19.6%、売上高経常利益率19.4%です。コストは全般的に固定費であり、損益分岐点も超えていることから、売上高のアップが利益ならびに利益率にそのまま影響を与える傾向にあります。

(資産、負債、資本)

第三者割当増資で調達した資金は、安全性の高い短期債権で運用しております。そのため、有価証券が161百万円増加しております。また、将来のアライアンスパートナーになり得る会社3社に投資をしました。この結果、60百万円投資有価証券が増加しております。

当社は運用に関しては、安全性の高い短期金融商品を中心に、投資に関しては、事業のアライアンスを念頭に、機を見て敏に行う方針であります。

### 3 当期の見通しについて

ECならびに情報携帯端末の普及はますます加速していくものと思われます。その中で、当社はEC市場における音楽情報ベンダーとしての地位を確立しつつあるものと認識しております。

今後ともデータベースの更なるクオリティアップ、情報携帯端末向けコンテンツの充実によって契約者や会員数の維持拡大を図り当初業績計画をさらに伸ばしていくように努めてまいります。

### 4 その他

情報開示体制の強化、インサイダー取引の内部管理強化などを目的に、管理部門の強化を図るべく、6月26日の定時株主総会において管理部長、経営企画室長兼務の2名の取締役を増員いたしました。